

『ザ・プレイヤー』 原題 <i>The Player</i> 1992年		執筆: 清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督：ロバート・アルトマン/ 脚本：マイケル・トルキン/ 製作：デヴィッド・ブラウン、マイケル・トルキン、ニック・ウェクスラー / 製作総指揮：ケイリー・プロコウ/</p> <p>キャスト：ティム・ロビンス; グリフィン・ミル /グレタ・スカッキ: ジューン・グッドマンズドータ /フレッド・ウォード:ウォルター /ウーピ・ ゴールドバーグ: 刑事スーザン・エイヴァリー / ピーター・ギャラガー: レヴィー/ブライオン・ジェームズ: ジョー・レヴィソン/シンシア・スティーヴンソン: ボニー・シュロウ/ ヴィン セント・ドノフリオ: デイヴィッド・ケヘイン/ その他 著名な俳優、監督、 プロデューサー60人以上がカメオ出演/</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	124分	
ストーリー	<p>映画会社の若き重役グリフィン・ミルは、ハリウットのプレイヤー（やり手、実力者）をめざす野心家だが、絵葉書による脅迫状に悩まされていた。売れないシナリオライターのデヴィッドを犯人だと思いこんだグリフィンが激情のあまり殺害に及ぶ。警察はグリフィンが犯人だと見破るが、証拠がないため逮捕できない。グリフィンは、仕事運は上昇中、デヴィッドの恋人ジューンを妻にして絵にかいたような幸せを手にした。そこへ本当の絵葉書の脅迫者がグリフィンの犯罪を暴いたシナリオを買うように電話で脅迫する。グリフィンは応じるが、作品のタイトルは「ザ・プレイヤー」（やり手）だと知らされる。</p>	
時代設定	現代	
場所	ロサンジェルスハリウット	
社会背景	<p>アメリカは世界最大の規模を誇る映画産業王国、その中心はハリウット。アメリカの映画の年間制作本数は世界一、莫大な製作費を投じた映画作り、映画をビジネスモデルとして世界に先駆けて確立、第二次世界大戦で戦場にならなかったアメリカは映画作りを続けられた。</p>	
文化的背景	<p>儲け主義によるビジネスとしての映画から、芸術としての映画への転換をもちくろむハリウット映画界、しかし現実にはハッピー・エンドを好む観客の嗜好に迎合せざるをえない。</p>	

使用言語	英語(標準的で正確な英語)
テーマ	ハリウッドの内幕を皮肉に描いたドラマ、弱肉強食のハリウッド、真実は葬られ興業成績をあげ収益を得たものが制覇する映画界。
みどころ	ハリウッドの虚飾をブラック・ユーモアを交えて皮肉に描く、映画のハッピー・エンディングをモットーにするハリウッドは、重役の犯罪も隠蔽して彼のハッピー・エンドを演出する、ハリウッドの俗物根性と一線を画すアルトマン監督ならではのシニカルな視点。
印象深いせりふ	Griffin Mill: It lacked certain elements that we need to market a film successfully. June Gudmundsdotti : What elements? Griffin Mill: Suspense, laughter, violence...hope, heart...nudity, sex... happy endings. Mainly happy endings. June Gudmundsdotti : What about reality? A blackmailer: A Hollywood ending. He marries the dead writer's girl and they live happily ever after. Griffin Mill: Can you guarantee that ending? A blackmailer: If the price is right, you got it.Griffin Mill: Guarantee that ending, you got a deal. A blackmailer: I guarantee it. Griffin Mill: What do you call this thing? A blackmailer: The Player.
授業教材用メリット	ハリウッドの虚勢を良質のブラック・ユーモアで描く、有名な俳優の顔がたくさん見られる、きれいな英語。
授業教材用デメリット	複雑な人間関係と込み入ったストーリー、映画通以外はわかりにくいオチがある。力による支配への皮肉が理解できないと、悪事肯定だと誤解されるおそれがある。
映像入手元	パイオニア LDC、パラマウント ホーム エンタテインメント ジャパン (DVD)
原作の有無	マイケル・トルキン
支持反応	Metacritic 評価 (批評家 86 、観客 8.6 ) Rotten Tomatoes 評価 (批評家 98 、観客 85 )
キーワード	ハリウッド、映画、ザ・プレイヤー、やり手、野心、シナリオライター、警察、殺害、絵はがき、犯罪、俗物、虚飾、アルトマン、ブラック・ユーモア。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。